

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

船木自主防災会

事業名	1	地域防災体制強化事業 (安心・安全強化事業)		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	168,184 円		助成金充当額	40,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	3 5 0 0 人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ 広報紙「船木防災だより」の戸別配布 ・ 防災研修会 ・ 防災講演会 ・ 防災資機材の管理 ・ 小学校との防災連携 ・ 緊急連絡通報訓練 ・ 防災マップの更新 ・ 4 団体合同研修への参加協力			
事業目標	・ 防災研修会「有帆川洪水ハザードマップ研修」：更新されたマップの研修 ・ 防災講演会「これで安心、家庭の備え」：家庭での防災備蓄や持ち出し品に関する研修			
	数値目標		令和2年目標	令和2年実績
	・ 防災研修会		・ 5 0 人	・ 3 5 人
	・ 防災講演会		・ 5 0 人	・ 3 0 人
事業効果	(達成できた、または、できなかった要因) ・ 新型コロナウイルス感染拡大継続により、また施設利用制限人数内であっても参加は最終的には個人的判断に委ねられることになり、参加者がコロナ感染を思えば欠席もあり得るため参加人数の目標を達成できていない。			
今後の課題等	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・ 現実には危機的状況が起きない限り正常性のバイアスにより地域住民の動きは相変わらず鈍いものの、様々な働きかけにより少しずつ具体的な行動に結びついている傾向は見える。 ・ 災害に強い地域づくりをするために、これからも研修会や講演会などの事業への地道な取り組みを続けて住民の意識の高揚を図りさらなる防災意識の維持向上を目指したい。また、ここだけの課題というわけではないが、防災には活躍の場もあるので女性への参画の呼びかけをこれからも続けたい。 ・ 先の地域の避難訓練に向けて学校との連携も図っていきたい。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和３年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

船木地区体育振興会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和３年４月～令和４年３月			
決算額	289,184 円		助成金充当額	70,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	330人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ふれあい運動会 ・ふれあい球技大会 ・ふれあい健康ポイントの活用 ・ポッチャの普及（講習会等）			
事業目標	・ふれあい運動会 ・ふれあい球技大会 の実施 参加者の拡大			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	参加者		250人	中止
	参加者		80人	中止
事業目標	(達成できた、又は、できなかった要因) ・全ての行事が、新型コロナウイルス感染防止のため中止になり、大変残念であった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・中止で効果が得られなかった。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・運動会は、雨天の場合でも体育館などで規模を縮小するポッチャなどに切り替えて開催できるようにk連騰している。 ・小中学校の行事とすり合わせて参加可能な日程調整をする。 ・球技大会については、よりポッチャを普及させて、参加者の増加を図りたい。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		①	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	② 3
	多くの住民の参加が得られましたか		①	2 3
	今後も事業継続できますか		1 2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 老人クラブ寿会連合会

事業名	3	老人クラブ活動事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	427,593 円		助成金充当額	28,500 円
事業対象者	老人クラブ加入者		参加人数	116人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・健康づくり：スポーツ大会（ペタンク）・園芸大会 ・社会活動：清掃奉仕・子どもの見守り友愛訪問・交通立哨・世代交流伝承			
事業目標	・健康活動の実施 ・児童生徒の登下校の見守り			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	スポーツ大会参加者		60人	50人
	健康講座参加者		50人	中止
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ禍で中止になる行事があり、残念であった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・会員相互の健康づくり、元気づくりや親睦が図られた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・昨年度、ペタンク競技を取り入れたが、好評であり来年度は年間行事に取り入れ実施したい。 ・新たにスクエアステップマットの実施。 ・コロナ禍が解消すれば、行事を増やしたい。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)

(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

伝統復活・健康民踊教室

事業名	5	高齢者見守り事業2			
事業期間	令和3年5月～12月				
決算額	598,770 円		助成金充当額	28,500 円	
事業対象者	全地区民		参加人数	3000人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・踊りでフィットネス ・機材購入(着物、帯)				
事業目標	ふれあいサロン、老人クラブ、高齢者施設等で「踊りでフィットネス」の実施 ・小学校運動会での総踊りの実施				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	踊りでフィットネス実施回数、参加者人数		年6回：参加者500人	年2回：300人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・小学校の運動会では、子どもたちへ船木小唄伝承の役目を果たすことができた。 ・その他は1年間コロナ禍の中で、サロンや地域の盆踊り等が中止となったため、予定どおり実施できなかった。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地域伝統芸能の伝承 ・身近な健康づくり、元気づくりの推進				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・船木小唄の伝承のため、できるだけ多くの行事に参加。 ・小学校の運動会への参加も毎年継続していきたい。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 (船木小) 学校運営協議会

事業名	6-1	小中学校連携事業1			
事業期間	令和3年4月～令和4年3月				
決算額	47,500 円		助成金充当額	47,500 円	
事業対象者	全校区民		参加人数	500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ○「ありがとうの木」「めざせ達筆! 船木の子」活動 ○地域行事への参加 ○地域支援ボランティア活動 ○学校支援ボランティア活動 ○学校運営協議会活動				
事業目標	地域とともにある学校づくり				
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績		
	・やまぐちっ子学習プリント印刷枚数 ・地域行事参加児童数	・5,000枚 ・100人	・100,000枚 ・150人		
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・週末学習プリントとしてほぼ欠かさず課題提出として実施できた。 ・地域行事のチラシを活用し、児童への参加呼びかけを適宜行った。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地域と学校が共同して児童育成に取り組む意識が高まった。 ・地域と良好な関係づくりができ、学校行事や取組に大変協力的になった。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・地域からの協力支援をより一層充実したものにし、船木小としての地域連携教育を更に推進していく。 ・児童の地域貢献活動をより充実させ活発化させていく。				
自己評価 (3段階評価) 1: 不十分 2: 効果的 3: 非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和３年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

（楠中）学校運営協議会

事業名	6－2	小中学校連携事業 1		
事業期間	令和３年４～令和４年３月			
決算額	12,000 円		助成金充当額	12,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	1 4 0 人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・地域行事へのボランティア活動『生徒会We Love KUSUNOKI プロジェクト』（地域貢献） ・コミュニティスクールへの支援『美術授業におけるミニ赤間硯の制作』（教育支援） ・〃『美術授業において制作したミニ赤間硯の展示』（教育支援）			
事業目標	学校と共にある地域づくり			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	地域行事へのボランティア活動参加		1 2 0 人	3 0 人
	コミュニティスクールとしての支援		1 2 0 人	5 人
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ禍によって『生徒会We Love KUSUNOKI プロジェクト』のうち門松づくり以外の全てを中止せざるを得なかった。 ・宇部市のステージ3指定によって地域住民を学校に招待することができなかった。			
	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地域における学校に対する支援意識・態勢は高く、また支援のための良好な関係づくりが進んだ。 ・地域貢献に対する士気高揚に向けたのぼり旗が昨年度作成されたが、それを元にしてあらゆる機会に楠中学校の情報を発信することができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・コロナ禍のなかでの事業推進を狙った方策の検討			
自己評価 (３段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 (3)
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 (3)
	多くの住民の参加が得られましたか		1	(2) 3
	今後も事業継続できますか		1	2 (3)

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 船木地区まちづくりサークル

事業名	7	小中学校学校連携事業2		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	25,000 円		助成金充当額	22,500 円
事業対象者	船木小学校5年生		参加人数	24名
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・優しさや心豊かな感情の育成を目指し、卒業生を祝福する会場に生花を飾り組み。 ・心を込めて生花を活け、会場及び参加者の感動をより良いものにする。			
事業目標	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	生け花の体験・卒業式の会場づくり		実施	実施済
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・フラワーアレンジメントで事業達成はできた。 ・コロナ禍で、在校生の参加制限が有る中での卒業式、会場設営に又、生け花で送る気持ちがより強いものとなったと推察される。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・日本の伝統文化である生け花の体験を通じて、心豊かな優しさ等の感性の向上があった。 ・地域連携による効果が発揮された事業である。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・少子高齢化、児童数は勿論地域人口の減少もあり、地域と学校を「つなぐ事業」として重要な取り組みと考えている。 今後も継続して取り組む。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	3 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		①	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 船木地区 まちづくりサークル

事業名	8	船木の歴史・伝統文化の保存・継承事業			
事業期間	令和3年4月～令和4年3月				
決算額	80,718 円		助成金充当額	58,500 円	
事業対象者	まちづくりサークルメンバー		参加人数	9 人	
事業内容	・ 毎月の定例学習会 ・ 拓本(採拓)の実技実習 ・ 紙芝居の舞台作成(更新) ・ 散策ガイド史跡の保存活動(周辺の草刈り清掃作業等) ・ 小学校との地域学習連携（郷土カルタを使い児童と学習交流を実施				
事業目標	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	町中散策ガイド 紙芝居の上演 草刈り等、清掃活動 学校連携 市、観光推進「ゆめ回廊博事業」参加		上記事業内容とする	いずれも実施	
	(達成できた、又は、できなかった要因)				
	○ 目標に対しての実績はいずれも実施。 ・ 一応の成果は残せたが、コロナウィルス対策などの関係で実施出来なかったものが有った。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・ 特に、学校連携は地域学習として、郷土について児童が興味を持ち積極的に学ぶ取り組み姿勢を感じ、地域愛の醸成に役立つ活動となった。 ・ 市町事業では、船木宿のPRにはなった。が、アンケート結果の参加者の地域別では周辺の方が全てで、県外や中部、東部等へのアピール不足を感じる。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ 従来型の情報発信ではなく、電子媒体を使って普段からの周知が必要と思う。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	②	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか		①	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和３年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

宇部市環境衛生連合会船木支部

事業名	9	地区環境整備事業			
事業期間	令和３年４月～令和４年３月				
決算額	752,216 円		助成金充当額	95,000円	
事業対象者	全地区民		参加人数	3,500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・有帆川河川清掃（年２回/６月・９月→１１月） ・西在地区道路清掃(空缶拾い) ごみ・空缶の持ち帰りの啓発活動(チラシ、ティッシュ配布) ・ボランティアチャレンジデー参加 ・地区環境整備活動（各自治会の環境整備への協力、中央公園清掃活動）				
事業目標	全校区民の環境整備活動への参加 ・校区内の環境整備・美化				
	数値目標		令和３年目標	令和３年実績	
	環境整備活動への参加者		延べ参加人数：1,000名	延べ参加人数：937名	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・６月の有帆川河川清掃：100名 コロナ感染防止のため９月→１１月に延期して実施：90名参加 ・７月のボランティアチャレンジデーは７団体１６２名参加 ・１０月の西在道路の清掃(缶拾い)はコロナ感染防止のため中止				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・環境美化意識を高め、校区内の衛生的で美しい環境づくりの推進				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・地域の美化、景観保持のため欠かすことのできない事業				
自己評価 (３段階評価) １：不十分 ２：効果的 ３：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	③
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和３年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

楠地区社会福祉協議会

事業名	10	敬老事業			
事業期間	令和３年4月～令和４年3月				
決算額	1,047,890 円		助成金充当額	484,880 円	
事業対象者	地区の高齢者（７７歳以上）		参加人数	1,100人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ 激励と慰安の会の実施 米寿・百歳の方の肖像写真贈呈、全対象者へ記念品贈呈 高齢者居場所作り（地域サロンの支援：現在７箇所）				
事業目標	高齢者の生きがい作り				
	数値目標		令和３年目標	令和３年実績	
	敬老行事参加者数		100人	中止	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・ コロナで集まっていた敬老会は中止となり、百歳・米寿写真、対象者記念品を配るのみであった。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・ 毎年、肖像写真の撮影を楽しみにしておられます。 ・ 健康寿命の延伸				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ 今後、ますます高齢化が進んでいく中で、在宅での生きがいづくり・居場所づくり・健康寿命の延伸等の観点からぜひ必要。				
自己評価 (３段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	②	3
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和3度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

生涯学習作品展実行委員会

事業名	11	地区文化振興事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	27,150円		助成金充当額	25,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	3 5 0 0 人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・生涯学習作品の展示発表 コロナウイルス対策により本来のかたちでの開催は取りやめ、ミニ作品展を1階の会議室に会場を変えて6日間行った。(期間を長くすることにより来場者の分散をねらった。)			
事業目標	・サークル等で日頃から取り組んでいる作品を展示することで意識の向上を図る			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	参加団体の数		12	5
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ対策で、作品展の形を変えることにより数字的には減少。 ・新型コロナウイルス感染防止の為、参加団体の絞り込みを行った。 ・サークル活動をしている方の高齢化。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・例年のような規模のものではなかったが、1日ではなく、6日間開催することで、来場者の分散を行いながらもより多くの方に作品展を見て頂くことができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・生涯学習を継続し、文化意識向上のためには発表の場が必要。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

ふれあい運動推進員会

事業名	12	青少年健全育成事業			
事業期間	令和2年4月～令和3年3月				
決算額	59,702円		助成金充当額	50,350円	
事業対象者	全地区民		参加人数	3 5 0 0 人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ 通学路の安全 ・ 生徒、児童の登下校の見守り ・ 青少年健全育成の啓発活動 ・ 学校、地域、関係機関（警察）との情報共有と連携				
事業目標	地区児童生徒の健全育成の推進				
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績		
	多くの地域の目があることで、安心安	見守り活動の実施	一定の成果を上げている		
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・ 登下校の見守りについては、計画通り実施できた。啓発活動、街頭補導はコロナウィルスによる行事の中止で実施できなかった。				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・ 登下校の見守りを通して、地区の子供たちが健全に成長してくれること。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ 隔年の「子供110番の旗」やボールの補充 ・ 見守り活動の旗の設置期間を当日だけから1週間に延長 ・ 通学路の安全点検				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

宇部市交通安全協会楠分会

事業名	13	交通安全推進事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	403,903 円		助成金充当額	9,500円
事業対象者	全地区民		参加人数	3 5 0 0 人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・春及び秋の全国交通安全運動、夏及び年末年始の交通安全県民運動、高齢者の交通事故防止県民運動の実施 ・安全指導、啓発活動、交通立哨等 ・のぼり旗、横断幕の設置 ・新入学児童への啓発、記念品			
事業目標	・春及び秋の全国交通安全運動、夏及び年末年始の交通安全県民運動、高齢者の交通事故防止県民運動の実施			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	日常的な安全運転への意識が向上すること		啓発活動・交通立哨	一定の成果を上げている
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・交通安全運動期間中等、新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、のぼり旗等のこまめな掲揚や交通立哨をした。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・安全指導、啓発活動、交通立哨等をとおして、住民の交通安全、交通道德の意識の高揚を図れた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・交通安全、交通道德の意識の高揚や交通事故抑止のため継続的の実施すべき事業である。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 船木地区コミュニティ推進協議会

事業名	14	コミュニティ行事・運営事業			
事業期間	令和3年4月～令和4年3月				
決算額	1,692,856円		助成金充当額	184,170円	
事業対象者	全地区民		参加人数	3420人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・第2期中期ビジョンの4大テーマ：防災体制の強化/高齢者の見守り強化/子育て支援強化/船木の活性化の推進 ・防災体制の強化：自治会連合会/自主防災/環衛連、高齢者の見守り強化：地域支え合い会議 子育て支援強化：子育て支援強化プロジェクト、船木の活性化：活性化懇話会/まちづくりサークルが推進担当 ・コミ理事会 隔月開催（進捗状況その他情報の共有） ・広報誌ふなきだより発行（毎月） ・主催行事：どんど焼き、船木宿健康ウォーキングはコロナで中止、4団体研修「山根川水害対策協議会」開催				
事業目標	・「第2期中期ビジョン」R2年度実績報告をふなきだより特別版で全戸配布 ・防災・高齢見守り・子育て支援・活性化ともコロナ渦で行事中止もあったが、代替行事を行い、施策もほぼやり切った。				
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績		
	・第2期中期ビジョンR2年度実績報告 ・どんど焼き参加者 ・船木宿健康ウォーキング	全戸配布 130人 200人	5月コミ総会報告6月ふなきだより特別版全戸配布 125人 コロナで中止		
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・4団体合同研修視察はコロナで中止としたが、代替行事で「山根川水害対策協議会」を対象6自治会と行政を招き、実施。 ・「ふれあい運動会」「ふれあい球技大会」はコロナ感染防止観点で中止（体振主催）				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) 高齢化、人口減少に備えて防災体制・高齢者の見守り・子育て支援の課題は明確であり、中期ビジョン（地域計画）の実践により継続的に地域力UPが期待できる。 一昨年実施した「S47災害から学ぶ」4団体合同研修会で水利組合との交流ができた事で4月実施の市長との市政懇談会で安心・安全について幅広く提案し、地域住民にも発信できた。				
今後の課題等	若手人材確保、住民との一体感（全住民の を得る） 地域りょくUPは行政の重要課題であるが、助成金が減額される。 18：30～の活動が多く地区団体役員の方が一の傷害保険保証金額UPをお願いしたい。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	②	3
	今後も事業継続できますか		1	2	③